

## ほじょ犬（補助犬）とは

ほじょ犬とは、体に障がいのある方の生活や社会参加を支えるために、特別な訓練を受けた「働く犬」です。単なるペットではなく、移動や日常生活を支える“パートナー”として、社会の中で役割を担っています。

### 1 ほじょ犬の種類

#### 盲導犬

視覚に障がいのある方の歩行をサポートします。

安全なルートを選び、障害物や段差を避けて歩行を助けます。

#### 介助犬

身体に障がいのある方の生活を支援します。

物を拾う、ドアを開けるなど日常動作を補助します。

#### 聴導犬

聴覚に障がいのある方に音を知らせます。

インターホンやアラームなどをユーザーに伝えます。

※法律上の「補助犬」はこの3種類を指します。

### 2 法律で定められた「補助犬」

体障害者補助犬法（2002年施行）により、補助犬の位置づけが明確に定められています。

この法律のポイントは大きく3つです。

#### ① 質の高い補助犬の育成

国が認めた訓練事業者が、一定の基準を満たした補助犬を育成します。

#### ② 社会における受け入れ義務

以下のような「不特定多数が利用する施設」では、補助犬の同伴を拒んではならないとされています。

- 飲食店・スーパー
- ホテル・旅館
- 病院
- 公共交通機関
- 公共施設 など

これは「お願い」ではなく、法律上のルールです。

#### ③ 使用者（ユーザー）の義務

補助犬を使用する方にも、以下の管理義務があります。

- 清潔に保つ（衛生管理）
- しつけを徹底する（行動管理）

- 健康状態を維持する

この仕組みにより、「利用者も施設側も安心できる環境」が作られています。

### 3 よくある誤解 (FAQ)

#### Q 受け入れを断るとどうなる？

補助犬の同伴を断ることは、「不当な差別的取扱い」に該当する可能性があります。

補助犬法に反する可能性があるだけでなく、『障害者差別解消法』における「障がいのある方の利用を断る」ことになるという位置づけになります。

#### Q 衛生面が心配

A 補助犬は厳しい管理下にあり、清潔が保たれています。

#### Q 他のお客様に迷惑では？

A 実際には、受け入れ施設の多くでクレームはほとんど発生していません。

#### Q なぜ見かけないの？

全国でも補助犬は約 800 頭程度と非常に少なく、岐阜県内では数頭しかいません。

見かけない＝必要ないではなく、「数が少ない」ことが理由です。

#### Q 見かけたときにはどうすればいい？

補助犬は工作中です。静かに見守ることが大切です。

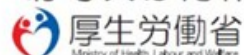
- 触らない
- 声をかけない
- 食べ物を与えない



Assistance Dogs Welcome !

- Guide Dog, Service Dog, Hearing Dog -

身体障害者補助犬法により盲導犬・  
介助犬・聴導犬は同伴できます



厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare